

【Oracle システムが立上らない時の対処方法】
表領域ファイルが破損した時の復旧方法
表領域名と物理ファイル名の対応一覧
リカバリ操作が必要なファイルの一覧

Oracle システムが立上らない時の対処方法

- ・時刻の記録
- ・これから行う作業のすべての記録
- ・ Oracle の強制停止
SHUTDOWN IMMEDIATE ;
or
SHUTDOWN ABORT ;

- ・ 全物理ファイルの静的バックアップ

【 これは、リストアに失敗した時に元に戻すための作業 】

データファイル、制御ファイル、オンライン REDO ログファイル、
アーカイブ REDO ログファイル
(OS コマンドにて)

- ・ リスナー（サービス）の停止

Oracle システムの復旧準備作業

- ・ SQL*Plus の起動
SPOOL <操作記録用ログファイル名> ・ ・ ・ Spool への出力の設定
time on ・ ・ ・ 時刻の表示設定

- ・ マウント状態での起動
startup mount

- ・ **【リカバリが必要な対象のファイル名調査】**

SELECT * FROM v\$recover_file ;

| FILE# | ONLINE | ONLINE_ STATUS | ERROR | CHANGE# | TIME |
|-------|--------|-------------------|---------------------------------------|----------------------------|------|
| 1 | ONLINE | ONLINE | <div>FILE NOT FOUND</div> エラー原因の表示 | <div>0</div> 確認済 SCN 番号 | |

- ・【表領域名と物理ファイル名の対応一覧】
- ・【表領域の構成物理ファイルの整合性確保時刻】

構成物理ファイルの `checkpoint_time` が制御ファイルのチェック時刻が異なっていると、Oracle システムはエラーが発生しているとして、データベースの表領域をオープンさせない
リカバリが必要と判断される

```
col name format a50
SELECT tablespace_name, file#, name, status, recover,
       to_char( checkpoint_time, 'MM-DD HH24:MI:SS' )
FROM   v$datafile_header ;
```

| tablespace _name, | file# | name, | status |
|----------------------|-------|-------------------------------|--------|
| SYSTEM | 1 | /home1/db/system.dbf | ONLINE |
| USER01 | 2 | /data/strage1/user_data01.dbf | ONLINE |

| recover | to_char(checkpoint_time, 'MM-DD HH24:MI:SS') |
|------------|--|
| NO | 09-19 08:40:10 |
| YES | 09-10 05:34:10 ← |

リカバリ要 他より古い日付時刻
※ リカバリ後は他のファイルと同一日付になる

表領域名

構成物理ファイル名

整合性確保時刻

Oracle システムの復旧作業

- ・リストア
OS のコピー・コマンド もしくは、RMAN によるリストア

【 注 意 事 項 】

- ・オンライン REDO ログファイルは、絶対にバックアップからリストアしては成らない
- ・制御ファイルは、損傷していなければ、バックアップからリストアしては成らない

- ・リストア後のファイルの状態確認

```
SELECT * FROM v$recover_file ;
```

| FILE# | ONLINE | ONLINE_ | ERROR | CHANGE# | TIME |
|-------|--------|---------|-------|---------|-----------|
| 1 | ONLINE | ONLINE | | 111047 | 19-SEP-05 |

完了している SCN 番号 完了時刻

※ これは、D/B が保持している SCN 番号より小さいので、リカバリが必要

- ・リカバリ

[完全回復]

```
RECOVER DATABASE ;
```

もしくは、RMAN によるリカバー処理

[不完全回復]

```
RECOVER DATABASE UNTIL TIME '2005-09-15:13:25:00' ;
```

もしくは、RMAN によるリカバー処理

Oracle システムの起動

- ・オープン状態へ変更

[完全回復]

```
ALTER DATABASE OPEN ;
```

もしくは、

[不完全回復]

```
ALTER DATABASE OPEN RESETLOGS ;
```